

北極海航路関連 国際会議プログラム
「時代を拓く北の海・・・その資源・輸送・環境保全」

海洋政策研究財団
(財団法人シップ・アント・オーシャン財団)

第1日 (2005年6月30日)

国際専門家会議(IEM)

10:00-10:15 主催者挨拶 (OPRF(SOF))

10:15-12:30 **IEM1** 天然及び生物資源と JANSROP-GIS : 情報と活用について

議長：山口一教授 (東京大学)、

Dr. Gennady Semanov (ロシア中央船舶海洋設計研究所：CNIIMF、ロシア)

10:15-10:45 **IEM1-1** 極東ロシアの石油・ガス資源について

Dr. Yury Grigorenko (ロシア石油研究・地質学調査研究所：VNIGRI、ロシア)

10:45-11:15 **IEM1-2** 石炭、森林などの極東ロシア特有の天然資源について

Dr. Gennady Serebryansky (ロシア極東船舶海洋設計研究所：DNIIMF、ロシア)

11:15-11:45 **IEM1-3** オホーツク海の水産資源

大塚夏彦氏 (北日本港湾コンサルタント株式会社)

11:45-12:15 **IEM1-4** 極東ロシアの資源地理情報システム (JANSROP-GIS)

亀崎一彦氏 (ユニバーサル造船株式会社)

12:15-12:30 討論

12:30-13:30 昼食

13:30-14:50 **IEM2** NSR 及び極東ロシア・アジアの複合輸送路：現況と展望

議長：大塚夏彦氏、

Dr. Vsevolod Peresykin (ロシア中央船舶海洋設計研究所：CNIIMF、ロシア)

13:30-13:50 **IEM2-1** カナダの北極圏での天然資源の開発と輸送

Mr. Victor Santos-Pedro (カナダ運輸省、カナダ)

13:50-14:10 **IEM2-2** 極東ロシアの輸送システムの見通し

Dr. Yaroslav Semenikhin (ロシア極東船舶海洋設計研究所：DNIIMF、ロシア)

14:10-14:30 **IEM2-3** 北極海航路の次期開発計画

Dr. Vsevolod Peresykin

14:30-14:50 討論

14:50-15:10 コーヒーブレイク

15:10-16:50 **IEM3** オホーツク海海洋レジーム：提言

議長：泉山耕氏 (独立行政法人 海上技術安全研究所)、

Dr. Peter Johan Schei (フリチョフナンセン研究所：FNI、ノルウェー)

15:10-15:30 **IEM3-1** ロシア側からの要望

Dr. Vladimir Vasilyev (ロシア中央船舶海洋設計研究所：CNIIMF、ロシア)

15:30-15:50 **IEM3-2** カナダ側からの提案

Dr. Victor Santos-Pedro

15:50-16:10 **IEM3-3** ノルウェー側からの提案

Dr. Peter Johan Schei

16:10-16:30 **IEM3-4** 日本側からの提言

泉山耕氏

16:30-16:50 討論

16:50-17:00 **IEM4** まとめ

北川弘光氏 (元北海道大学教授)

17:00-17:10 閉会の辞 (OPRF(SOF))

第2日 (2005年7月1日)

国際シンポジウム(IS)

13:30-13:40 開会の辞

13:40-14:00 来賓挨拶

笹川陽平 (日本財団理事長)、駐日ロシア連邦大使、駐日ノルウェー王国大使

14:00-14:25 基調講演 「北極圏の新たな利用方法」

Prof. Willy Østreg: (ノルウェー先端科学研究センター、ノルウェー)

14:25-15:05 **IS1** JANSROP-IIの概要の紹介

議長：北川弘光氏 (元北海道大学教授)

14:25-14:30 **IS1-1** JANSROP-II 事業概要の紹介

北川弘光氏

14:30-14:45 **IS1-2** 極東ロシア・オホーツク海の自然条件

若土正暁氏 (北海道大学教授)

14:45-15:05 **IS1-3** 極東ロシアの資源：JANSROP-GIS

亀崎一彦氏 (ユニバーサル造船株式会社)

15:05-15:20 コーヒーブレイク

15:20-16:55 **IS2** 海外市場から見た極東ロシア資源、輸送インフラストラクチャーの整備

議長：亀崎一彦氏

15:20-15:35 **IS2-1** 日本市場から

石川優一郎氏 (丸紅株式会社)

15:35-15:55 **IS2-2** 韓国市場から

Ha Young Seok (啓明大学教授、韓国)

15:55-16:15 **IS2-3** 北極海航路の将来像

Dr. Vsevolod Peresyphkin (ロシア中央船舶海洋設計研究所：CNIIMF、ロシア)

16:15-16:35 **IS2-4** 北極海へのアクセスの将来像

Dr. Lawson W. Brigham (アメリカ北極研究所、アメリカ)

16:35-16:55 **IS2-5** 極東ロシア地域輸送路の整備

サハ共和国からの専門家

16:55-18:05 **IS3** 亜極域海洋環境保護

議長：泉山耕氏 (独立行政法人 海上技術安全研究所)

16:55-17:15 **IS3-1** EU、バレンツ海に学ぶもの

Dr. Peter Johan Schei (フリチョフナンセン研究所：FNI、ノルウェー)

17:15-17:35 **IS3-2** カナダのシステムが教示するもの

Dr. Victor Santos-Pedro (カナダ運輸省、カナダ)

17:35-17:55 **IS3-3** ロシアの海洋環境保護

Dr. Gennady Semanov (ロシア中央船舶海洋設計研究所：CNIIMF、ロシア)

17:55-18:05 **IS3-4** オホーツク海海洋レジーム／まとめ

北川弘光氏

18:05-18:15 閉会の辞

18:30-20:00 意見交換会／レセプション

※プログラムの内容は、変更される場合があります。

以上